



虐待防止・
コンプライアンス委員会

2021年度
事業報告

2021年度

■虐待・コンプライアンスに係る報告件数 1 件

■虐待認定 0 件

■定例の管理者会議に併せ、虐待防止委員会を実施 毎月開催

■各事業所で虐待防止の点検実施（チェックシート使用）

- ・こもれび 毎月実施
- ・わたぼうし 毎月実施
- ・ぐりーん 毎月実施
- ・わたっこハウス 夏休みを除き毎月実施

■虐待防止研修（DVD視聴研修）

- ・法人内職員（パート職員含む）全員がDVD視聴
- ・研修報告書の提出

■ 人事考査により、虐待防止に係る取り組み（実践）を評価

| | | |
|-------------|---|---|
| 法人の 存在意義 | インクルーシブ社会実現のための実践を、地域社会に広げる | |
| | 専門性のある支援をする事業所として期待される | |
| | 1-1 実現するために必要な人材はどのような人材か | |
| | 利用者・児にとって最善の利益を常に考えて行動できる | |
| | 利用者・児の行動の理由を分析でき、適切な支援（環境調整）を行うことで虐待や事故の芽を事前に摘むことができる | |
| | 1-1-2 | その能力が発揮されたことの評価項目は |
| | 1-① | 事業所が目指す最善の利益を書面化し、実現のために行動する |
| | | 5 = 最善の利益を3つ挙げ、取り組みを書面化し実行できた 3 = 最善の利益を3つ挙げた 1 = 実施無し |
| | 1-② | 虐待防止に向けた自分の取り組みを書面化し実行する |
| | | 5 = PDCAサイクルを実施し、虐待・事故を起こしていない 3 = PDCAサイクルを実施した 1 = 実施無し |

■ OJTの実施 ※年3回

- ・ 人事考課における個人目標を基準に、助言、サポートを行った
(事業所担当者による実施)

2021年度の評価・今後の課題

■管理者会議 毎月3日開催

日にちを固定したことで定期開催に繋がった

■OJT用シートを作成したことで、明確な助言ができるようになった。今後、シートの精査をしながらより質の高いOJTに繋げる

■虐待防止の点検、OJT共、事業所毎に実施できたが、内容については差が見られる。実施状況、内容を共有し、常に改善できる状況を作る